

□主な内容

【北海道洞爺湖サミットにあわせたニュース/トピック】

北海道洞爺湖サミットにあわせて、サミット会場周辺での非接触給電ハイブリッドバスの運行や札幌市におけるCNG車普及促進モデル地域の指定などがありました。

【北海道洞爺湖サミットにあわせたイベント情報】

北海道洞爺湖サミットにあわせて、札幌周辺では、国立環境研究所「公開シンポジウム2008」や「燃料電池～地球に優しいクリーンエネルギー」などが開催されます。

□目次

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第23回)

●「交通エコポイント制度に対する雑感」

【愛媛大学大学院理工学研究科講師 倉内慎也】

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第23回)

●「上越市における市町村合併による市域拡大に対応した持続可能なまちを育み支えるために」

【上越市企画・地域振興部企画政策課新幹線・交通政策室室長 宮崎 豊】

3. ニュース/トピック

●「環境新時代を切り拓く、鉄道の未来像」(交通政策審議会 陸上交通分科会 鉄道部会 提言)について【国土交通省】

●札幌市をCNG車普及促進モデル地域として指定します【国土交通省】

●北海道洞爺湖サミットで非接触給電ハイブリッドバスが運行します【国土交通省、日野自動車】

●平成20年度グリーン物流パートナーシップ推進事業が決定しました【経済産業省、国土交通省】

●高速バスからつくばエクスプレスへの乗り継ぎ実証実験を開始【国土交通省関東運輸局、国土交通省関東地方整備局、埼玉県、茨城県、八潮市、首都高速道路、首都圏新都市鉄道、茨城交通、日立電鉄交通サービス、関東鉄道、ジェイアールバス関東】

●国分町地区における客待ちタクシー対策を本格実施します【仙台市】

●アイドリングストップ装置&カーシェアリング導入支援事業のお知らせ【荒川区】

●トヨタレンタリース神戸でエコショッピング【神戸市】

- 平成 20 年度 JCOMM 賞四賞の受賞者を掲載【日本モビリティ・マネジメント会議】
- 鉄道利用の来場客を対象に、映画館の入場料割引や、プレゼント抽選を実施【東京急行電鉄、横浜高速鉄道、横浜市交通局、東急レクリエーション】

4. イベント情報

- 国立環境研究所 公開シンポジウム 2008【2008/6/28】
- 燃料電池 ～地球に優しいクリーンエネルギー【2008/6/28】
- 第三回 日本モビリティ・マネジメント会議【2008/7/4,5】
- グリーンロジスティクス推進フォーラム【2008/7/22】
- 交通権学会 2008 年度 第 23 回研究大会・総会【2008/7/26,27】
- 横浜カーフリーデー2008&モビリティウイーク【2008/9/13-24】

5. その他

- 記事募集中！

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 23 回)

- 「交通エコポイント制度に対する雑感」

【愛媛大学大学院理工学研究科講師 倉内慎也】

EST の普及方策の一つとして、我々の研究グループは「交通エコポイント制度」を推進しています。基本的には、店舗等のポイント制度を交通分野に適用したもので、IC カードの普及を追い風に、既に様々な地域で導入されつつあります。ポイント制度は、基本的には規模の経済が働くと考えられますので、普及すること自体については非常に嬉しいのですが、一つ大きな懸念があります。

それは、「エコ」の視点が抜け落ちてしまい、単なる「交通ポイント制度」になってしまわないかという心配です。家電量販店等でポイント制度が成功しているのは、店舗間の競争が激しい上に、ポイント還元率が非常に高いことが挙げられます。一方、大都市を除けば、交通サービスの競争は非常に低く、まして CO2 の削減という視点に立てば、公共交通の競争相手は自動車であり、自動車と競争するに足るポイント原資を拠出することは財政的な観点から非常に難しいものと思われまます。従って、ポイント還元という経済的インセンティブ以外のしかけが必要になります。この点について、我々の研究では、市民の方は、何らかの経済的インセンティブは欲しいものの、その量についてはあまりこだわらないこと、ポイント還元メニューの一つとして植樹のような社会貢献メニューがあると参加者の満足度が高いこと、獲得ポイントを告知する際に CO2 削減量なども併せて提示するとエコ交通行動がより促進されること、などの知見が得られています。つまり、ポイント還元という経済的インセンティブはあくまで「きつ

かけ)に過ぎず、環境意識に継続的に訴えかける「エコ」の部分が非常に重要である、ということが次第に明らかになりつつあります。

最近では、排出権取引がESTの普及策の一つとして検討されつつありますが、CO2という物理的指標を論拠に市場原理に働きかけるだけでは、不十分であるように思われます。その点、交通エコポイント制度は、CO2に縛られることなく、地域の交通事情や政策目標に応じて柔軟に対応できるという点でも、今後の更なる普及が期待できるのではないのでしょうか。

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第23回)

●「上越市における市町村合併による市域拡大に対応した持続可能なまちを育み支えるために」

【上越市企画・地域振興部企画政策課新幹線・交通政策室室長 宮崎 豊】

上越市は「地球環境都市宣言」(平成10年6月)を行い、環境の保全・改善に取り組んでいます。そして市町村合併(平成17年1月)により拡大した市域に対応した移動性の確保が重要な課題であり、誰でも移動できる交通手段を確保することによって、持続可能なまちの実現を目指しています。

公共交通の確保、利用促進のこれまでの取組みに加え、自動車交通と上手に付き合うことによって二酸化炭素をはじめとする環境負荷を構造的に抑制することが重要であると考えます。

こうしたことから、路線バス利用の促進のため、バススタンプラリーなどにより、バス利用の動機付けを行い、公共交通を単に移動制約者の移動手段としてだけでなく持続可能なまちを育み支える政策ツールととらえながら利用促進を始めております。また、マイカー利用については、エコドライブ講習を実施し、二酸化炭素の抑制に努めております。

こうした取組を持続的に行うことによって、多くの人々が習慣的に利用できる公共交通ネットワークの再構築を目指し「地球環境都市・上越」にふさわしいまちづくりを目指しています。

3. ニュース／トピック

●「環境新時代を切り拓く、鉄道の未来像」(交通政策審議会 陸上交通分科会 鉄道部会 提言)について【国土交通省】

交通政策審議会陸上交通分科会鉄道部会において、今後の鉄道輸送・鉄道技術のあるべき姿と鉄道政策が目指すべき方向性について、審議が行われてきました。このたび、部会の提言「環境新時代を切り拓く、鉄道の未来像 ―鉄道がつなぐ、エコフレンドリーな生活圏(「鉄道エコ生活圏」)の創造に向けて―」がとりまとめられました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo01_hh_000012.html

●札幌市をCNG車普及促進モデル地域として指定します【国土交通省】

国土交通省は、「CNG車普及促進モデル事業」の実施地域として、5月26日に新たに北海道札幌市を指定します。札幌市では、地方公共団体を中心とする協議会が主体となり、平成22年度までにCNGスタンドを2箇所新設・改良し、150台のCNG車の導入を計画しており、国土交通省はこの取り組みを支援します。また、札幌市では、CNG車普及促進モデル事業の一環として、「北海道洞爺湖サミット記念 環境総合展 2008(6月19～21日、札幌ドーム)」において、CNG車の展示・試乗会等を予定しています。

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha01_hh_000002.html

●北海道洞爺湖サミットで非接触給電ハイブリッドバスを運行します【国土交通省、日野自動車】

国土交通省が実施している「次世代低公害車開発・実用化促進プロジェクト」において開発し、走行試験を行ってきた非接触給電ハイブリッドバスについて、日野自動車(株)及び給電設備設置場所を提供いただいた藤岡工業(株)の協力を得て、北海道洞爺湖サミットでシャトルバスとして活用します。非接触給電ハイブリッドバスは、従来のハイブリッドバスに外部から充電する機能を追加したもので、通常は電気で走行し、走行中の排出ガス・CO₂をゼロとすることができます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha10_hh_000002.html

●平成20年度グリーン物流パートナーシップ推進事業が決定しました【経済産業省、国土交通省】

グリーン物流パートナーシップ会議は、平成20年度に荷主と物流事業者が協働して取り組むグリーン物流推進事業について、「ソフト支援事業」11件、及び「普及事業」35件の推進を決定し、これを受けて経済産業省及び国土交通省は、これらの事業に対して認定書を交付しました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000006.html

●高速バスからつくばエクスプレスへの乗り継ぎ実証実験を開始【国土交通省関東運輸局、国土交通省関東地方整備局、埼玉県、茨城県、八潮市、首都高速道路、首都圏新都市鉄道、茨城交通、日立電鉄交通サービス、関東鉄道、ジェイアールバス関東】

茨城方面から東京方面へ向かう高速バスは、都心へ向けての渋滞等により、到着時間が前後する場合があります。このため、利用者の定時性の確保はもとより、利便性の増進等を目指し、関係者が検討委員会を設置し、議論を進めてきました。その結果、つくばエクスプレス八潮駅に近接(直線距離で約200m)する首都高速道路八潮パーキングエリアに降車用のバス停を設置し、高速バスからつくばエクスプレスへの乗り継ぎを可能にする交通体系について実証実験を実施することとなりました。本実験中、乗り継ぎ利用希望客には、つくばエクスプレス八潮駅から秋葉原駅までの通常450円の乗車券が、高速バス車内で100円にて発売されます。

http://www.jrbuskanto.co.jp/topics/post_13.html

●国分町地区における客待ちタクシー対策を本格実施します【仙台市】

深夜の国分町地区における、客待ちタクシーの違法駐停車に起因する道路混雑や通行の安全性低下の改善を図るため、(社)宮城県タクシー協会仙台地区総支部が中心となり、平成20年4月21日(月)～5月31日(土)まで、社会実験(「国分町3Way」方式)を行ってきました。これまでの実験を踏まえ、引き続き6月1日より本格実施することになりました。

<http://www.city.sendai.jp/soumu/kouhou/houdou/08/0528way.html>

●アイドリングストップ装置&カーシェアリング導入支援事業のお知らせ【荒川区】

荒川区では、家庭や事業所のマイカーやトラックなどから排出される二酸化炭素(CO2)の削減を図るため、アイドリングストップ装置の購入やカーシェアリングの会員となる際に必要な初期経費の一部を助成します。

<http://www.city.arakawa.tokyo.jp/a001/b009/d02400068.html>

●トヨタレンタリース神戸でエコショッピング【神戸市】

神戸市交通局では、マイカーから鉄道・バスへの利用転換を促進し、環境負荷の軽減を図るため、地下鉄を使って提携店で買い物や食事をするると割引き等のサービスが受けられる「エコショッピング制度」を実施しています。平成19年度より、「かしこいクルマの使い方を考えるプロジェクト神戸」を実施し、過度のマイカー利用から公共交通への利用転換を図っています。今回、駅からの交通手段となりうるレンタカー店と提携した、新たなエコショッピングを開始します。

<http://www.city.kobe.jp/cityoffice/54/press/20080526tp01.pdf>

●平成20年度 JCOMM 賞四賞の受賞者を掲載【日本モビリティ・マネジメント会議】

JCOMM 実行委員会は、平成20年4月中旬までに応募・推薦のあった取り組み・研究の中から、平成20年度 JCOMM 賞の各賞受賞者を選定しました。第三回 JCOMM にて、受賞者への表彰が行われます。

http://www.plan.cv.titech.ac.jp/fujilab/jcomm/jcomm_award.html#award_h20

●鉄道利用の来場客を対象に、映画館の入場料割引や、プレゼント抽選を実施【東京急行電鉄、横浜高速鉄道、横浜市交通局、東急レクリエーション】

東京急行電鉄、横浜高速鉄道、横浜市交通局、東急レクリエーションでは、2008年7月1日(火)から9月30日(火)まで、東急レクリエーションが運営する沿線のシネマコンプレックスに鉄道を利用して来場した客に対して、映画館の入場料を割引く「109シネマズECO(エコ)得キャンペーン」を実施します。本キャンペーンは、環境に優しい交通機関である鉄道

のPRおよび利用促進を目的に実施するもので、昨年(7～9月に実施)に続き3回目となります。

http://www.tokyu.co.jp/contents_index/guide/pdf/080619.pdf

4. イベント情報

● 国立環境研究所 公開シンポジウム 2008

日時:2008年6月28日(土) 12:00～17:30

会場:札幌会場 道新ホール

主催:国立環境研究所

<http://www.nies.go.jp/sympo/2008/index.html>

● 燃料電池 ～地球に優しいクリーンエネルギー

日時:2008年6月28日(土) 13:30 から2時間程度

会場:北海道大学 高等教育機能開発総合センター 自然科学実験 物理第2 実験室

主催:高等教育機能開発総合センター

<http://gelens.high.hokudai.ac.jp/class2008/lec0806.pdf>

● 第三回 日本モビリティ・マネジメント会議

日時:2008年7月4日(金)、5日(土)

会場:京都府京都市 京都市国際交流会館

主催:(社)土木学会・国土交通省

<http://www.plan.cv.titech.ac.jp/fujiilab/jcomm.html>

● グリーンロジスティクス推進フォーラム

日時:2008年7月22日(火) 13:00～17:00

会場:砂防会館別館「会議室」

主催:社団法人日本物流団体連合会

<http://www.butsuryu.or.jp/greenlogistics/top.html>

● 交通権学会 2008年度 第23回研究大会・総会

日時:2008年7月26日(土)、27日(日)

会場:熊本学園大学 1411 教室など

主催:交通権学会

<http://www009.upp.so-net.ne.jp/kotsuken-gakkai/conference/conference.html>

●横浜カーフリーデー2008&モビリティウィーク

日時:2008年9月13日(土)-24日(水)

会場:横浜市営地下鉄関内駅ほか

主催:横浜カーフリーデー実行委員会

<http://yokohama-car-free.com/modules/wordpress/>

5. その他

●記事募集中!

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。EST、または「交通と環境」に関連する取り組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

→ E-mail:EST@ecomoto.or.jp(担当:市丸)

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

http://www.estfukyu.jp/mailmagazine_cancel_form.html

ESTポータルサイト:<http://www.estfukyu.jp/>